



塩野義製薬株式会社のデータサイエンス部が主催するオンラインセミナーです。昨年に続く第 2 回のテーマは『データサイエンスとデータエンジニアリングの融合による新たな価値創造』です。企業の様々な活動においてデータの利活用を推進するためには、データサイエンスとデータエンジニアリングの両輪が連動するための組織体制と人材が必要です。このテーマを深く考えるために、講師として著名な方々をお招きし講演いただきます。加えて、事例として当社データサイエンス部の実績や経験談等もご紹介いたします。

◇開催概要

日時 : 2024 年 2 月 29 日(木) 10:00-17:25

参加費 : 無料

入場上限 : 3,000 名

※ Zoom の入場上限に達した場合、参加申込みされていても入場できません

参加方法 : [Peatix](#) から事前申込をお願いします (申込期限 2 月 27 日 17 時)。

参加 URL 等は申込者にイベント前日までに連絡します

※ 所属先等が確認できない方は、参加をご遠慮いただきます

主催 : 塩野義製薬株式会社 DX 推進本部 データサイエンス部

開催形式 : オンライン開催 (Zoom Webinar)

※ イベント開催中の出入りは自由です

◇このような方におすすめ

- ・ 医薬品開発・ヘルスケア関連ビジネスに関心のある方
 - ・ データサイエンス、データエンジニアリングに関心のある方
- ※学生歓迎

2024年2月29日 10:00-17:25


タイムテーブル


開始	講演内容	所属	講演者
10:00	オープニング	塩野義製薬株式会社 DX 推進本部	出口 昌志
Session1: データサイエンスの最先端			
10:20	(基調講演 1) 米国のデジタルヘルス・医療 AI の最先端	Kicker Ventures	清峰 正志
10:50	(基調講演 2) ヘルスケアデジタルの最前線	デロイト トーマツ コンサルティング	西上 慎司
11:20	休憩		
11:30	CNS 領域のトータルケアに向けた ストレス予測アルゴリズム開発の取り組み	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	岩本 洋紀
11:50	売上シミュレーションによる営業戦略の策定支援	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	副島 涼
12:10	感染症流行状況の把握と予測の取り組み	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	宮澤 昇吾
12:30	休憩		
Session2: 組織・人材論			
13:30	(特別講演) SHIONOGI におけるデータサイエンスへの期待	塩野義製薬株式会社	手代木 功
13:40	仮説検証サイクルを実現する データサイエンティストとデータエンジニアの挑戦	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	北西 由武
14:10	(基調講演 3) マイクロソフトが実践する データドリブンな組織変革と女性のキャリア支援	日本マイクロソフト 株式会社	水上 千佳
14:40	休憩		
Session3: データエンジニアリングの躍進			
14:50	(基調講演 4) データ x AI が創る未来	Snowflake 合同会社	東條 英俊
15:20	(基調講演 5) 意思決定を創造する人中心型イノベーション	SAS Institute Japan	手島 主税
15:50	休憩		
16:00	SHIONOGI のデータ活用基盤の現状と 今後の展望	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	渡邊 慶
16:20	データサイエンス人材教育と データサイエンス部保有スキルに見える化	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	山下 彩花
16:35	オンデマンド計算環境の開発 -クラウド計算資源の効率的な利用と、高度解析の加速-	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	高市 伸宏
16:50	データ活用を促進するデータカタログ	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	雑賀 恵美
17:05	クロージング	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	北西 由武


講演概要


➤ Session1 : データサイエンスの最先端

タイトル	(基調講演)米国のデジタルヘルス・医療 AI の最先端	
発表者	清峰 正志 氏	
所属・役職	Kicker Ventures / Founder & Managing Partner	
主な経歴	2021 年 1 月～ Kicker Ventures 創設 2020 年 6 月～ 東北大学特任教授(客員) 2019 年 7 月～ 経産省 InnoHub アドバイザー 2018 年 3 月～ Link-J サポーター ～2017 年 6 月 Mitsui Global Investment・Head of Global Life Sciences&Investment Director 2001 年 6 月 Dartmouth College 卒	
主な研究・業務内容	ヘルスケア・ベンチャー投資	
キーワード	海外、アメリカ、デジタルヘルス、デジタルセラピューティクス、AI、生成 AI	
講演要旨	多種多様なデータと最新技術の活用により実現するデジタルヘルスについて、アメリカを中心とした現状(注目が集まっている最新技術やトレンド)および課題, 今後の見通しについて	


タイトル	(基調講演)ヘルスケアデジタルの最前線	
発表者	西上 慎司 氏	
所属・役職	デロイト トーマツ コンサルティング 執行役員 ライフサイエンス&ヘルスケアインダストリーリーダー	
主な経歴	1999 年 株式会社日本総合研究所 2005 年～現在 トーマツ コンサルティング株式会社(現デロイト トーマツ コンサルティング合同会社)	
主な研究・ 業務内容	製薬、医療機器メーカーを中心に、中期経営計画策定、マネジメント変革、グ ローバル組織設計、デジタル戦略・組織構築などのプロジェクトを手掛ける。 パーキンソン病患者に対する次世代ヘルスケア社会システムの臨床研究プロ グラム、ヘルスケア領域の社会課題解決を目的とするコンソーシアムの運営支 援にも関与。ヘルスケアの未来像を描いた「データドリブン・ライフブリリアン ス」、製薬産業の未来像を描いた「ポストコロナ元年の製薬企業に求められる 備え」の監修、Harvard Business Review オンラインページへの対談記 事掲載、講演・寄稿多数。	
キーワード	ヘルスケア、デジタル、ペイシエント・セントリシティ	
講演要旨	総論は誰もが賛成だがなかなか進まないと言われる日本のヘルスケアデジタ ル化。本セッションでは、トレンドに加えて、改革が進む具体的な事例を解説し ます	


タイトル	CNS 領域のトータルケアに向けた ストレス予測アルゴリズム開発の取り組み	
発表者	岩本 洋紀	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 3 グループ	
主な経歴	2020年3月 京都大学 工学部物理工学科 卒業 2022年3月 同大学院 情報学研究科システム科学専攻 修士課程修了 2022年4月 塩野義製薬株式会社 DX 推進本部データサイエンス部 入社	
主な研究・ 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェアラブルデバイスのデータ解析 ・ 画像認識を中心とした機械学習モデル開発 ・ 創薬研究領域の DX 推進 	
キーワード	メンタルヘルス、ウェアラブルデバイス	
講演要旨	SHIONOGI のデータサイエンス部では、うつをはじめとした中枢神経系（CNS）領域において、Patient Journey の各局面に応じた取り組みを進めている。本講演では、労働者を対象としたストレス予測アルゴリズム開発の事例を中心に、SHIONOGI におけるデバイス活用と日常的なヘルスマニタリングの可能性について紹介する。	


タイトル	売上シミュレーションによる営業戦略の策定支援	
発表者	副島 涼	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 2 グループ	
主な経歴	東京大学薬学部卒。同大学院薬学系研究科修了。塩野義製薬株式会社に入社後は営業全般の業務（MR/KOL 対応/企画/推進/マーケティング）を担当して、その後はデータサイエンス部に所属。	
主な研究・業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業戦略の策定支援 ・ 経営の意思決定の支援 ・ データサイエンス教育 	
キーワード	シミュレーション、データドリブンな意思決定、営業	
講演要旨	<p>会社経営において事業目的を達成するために、ヒト・モノ・カネ・情報などの経営リソースを活用するが、目まぐるしく外部環境が変化する中で、適切な経営リソース量を算出するのは難しい。生命に密接に関わる医療用医薬品は、適正使用に繋がる情報提供が経営リソースとして必要になる。今回の発表では、経営リソース量から目的達成確率をモンテカルロ法でシミュレーションしたことに加えて、多変量解析で効率的な活動を探索することで、意思決定に役立った取組みをご紹介します。</p>	

タイトル	感染症流行状況の把握と予測の取り組み	
発表者	宮澤 昇吾	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データサイエンス 2 グループ	
主な経歴	九州大学数理学府数理学専攻修了。2017年に塩野義製薬株式会社に入社し、臨床試験データの解析に従事。現在はデータサイエンス部に異動し、感染症領域のエビデンス構築を進めている。	
主な研究・業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画立案・分析・提案 ・ プロジェクトマネジメント 	
キーワード	流行把握, 流行予測	
講演要旨	<p>感染症の流行状況を把握することや流行拡大を察知することは感染症に関するアクティビティを行う上で非常に重要であるが、従業員それぞれが個別に行おうとすると、そこには多くの労力がかかる。SHIONOGIではデータサイエンス部のあらゆる技術を用いて感染症流行状況の把握と予測の取り組みを進めている。本公演では取り組みの内容を紹介する。</p>	


➤ Session2 : 人材育成・組織論


タイトル	(特別講演) SHIONOGI における データサイエンスへの期待	
発表者	手代木 功	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO	
主な経歴	1978年宮城県仙台第一高等学校卒業。1982年3月に東京大学薬学部卒業後、同年4月塩野義製薬株式会社入社(薬学博士:2001年)。1987年から2度にわたる7年間の米国勤務を経て、2002年6月取締役、2008年4月代表取締役社長就任。2022年7月より現職。2010年より大阪商工会議所副会頭、日本製薬工業協会会長、国際製薬団体連合会副会長、日本製薬団体連合会会長等を歴任。さらに2021年6月より株式会社三井住友銀行、2022年3月よりAGC株式会社の社外取締役を兼任、現在に至る。	
キーワード	データドリブンな意思決定、DX推進、データサイエンスとエビデンス	
講演要旨	SHIONOGIが目指すVision、およびその実現のために必要なデジタル技術・データによるビジネスデジタル変革とそれを担う組織・人材について、1)医薬品・ヘルスケアサービスにおける新たな価値、2)経営資源の効率的な活用、3)データに基づく意思決定という3つの観点から紹介するとともに、SHIONOGIがヘルスケア課題に応える価値創造を行うためのコアエンジンとなるデータサイエンスへの期待を述べる。	


タイトル	仮説検証サイクルを実現する データサイエンティストとデータエンジニアの挑戦	
発表者	北西 由武	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 部長	
主な経歴	塩野義製薬株式会社に入社後、解析センターで統計解析職として、臨床統計や解析プログラミング、CDISC データ標準化、解析基盤構築の業務に従事。2020 年 データサイエンス室長、2021 年から現在までデータサイエンス部長として、社内外の幅広いデータを取り扱い、統合データベースの構築とデータ集積、データ活用の企画・推進、データ活用人材育成等を行っている。博士(理学)。	
主な研究・業務内容	データサイエンス組織のマネジメント、データ活用の企画・推進、データ活用人材育成等	
キーワード	データに基づく仮説検証サイクル、データサイエンティストとデータエンジニア、データサイエンス組織と人材育成	
講演要旨	塩野義製薬 データサイエンス部では、データに基づく仮説検証サイクルを如何に高速かつ高品質に回すか、に重きを置いて活動している。この活動のためにはデータサイエンティストに加えて、データエンジニアの存在が不可欠であり、さらに仕組みや場が必要である。そのベースとなるデータサイエンス組織の設計、人材育成に込めた思いを述べる。	


タイトル	(基調講演)マイクロソフトが実践する データドリブンな組織変革と女性のキャリア支援	
発表者	水上 千佳 氏	
所属・役職	日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 インダストリアル&製造事業本部 西日本製造営業統括本部 統括本部長	
主な経歴	2001年3月 大阪大学工学部応用理工学科卒業 2001年4月~2018年9月 富士通株式会社 MIS 事業本部 アシスタントマネージャー 2018年9月~2022年11月 Amazon Web Services Japan 合同会社 エンタープライズ営業統括本部 西日本営業本部 営業部長 2022年12月~ 現職	
主な研究・ 業務内容	・西日本・エンタープライズ企業のお客様を担当する営業チームの責任者 ・お客様のビジネス課題に合わせた Microsoft が持つ幅広いサービスのご提案、価値訴求	
キーワード	データドリブン、女性育成、組織イノベーション	
講演要旨	データドリブン経営は、厳しい競争環境を生き抜くために着目されています。マイクロソフトでは、人事部門においてもデータを有効に活用して、時代に合わせた組織を構築しています。データに基づいた育成プランニングも行っており、ダイバーシティに富んだ組織構築の一環として女性マネージャーの育成を実践しています。自分自身のキャリアも踏まえて、これらの手法についてお伝えします。	


➤ Session3 : データエンジニアリングの躍進


タイトル	(基調講演)データ x AI が創る未来	
発表者	東條 英俊 氏	
所属・役職	Snowflake 合同会社 社長執行役員	
主な経歴	<p>1996 年 中央大学文学部卒業後、ジャストシステム入社。その後マイクロソフト(現 日本マイクロソフト)を経て、2010 年よりマイクロソフト米国本社へ移籍。2013 年ワシントン大学大学院フォスタースクールにて経営学修士課程(MBA)修了。2016 年に帰国後グーグルクラウドジャパンに入社し、営業部長などを経て 2019 年 9 月より現職。</p> <p>マイクロソフト米国本社勤務時代は、米国・欧州企業のデジタル・トランスフォーメーションプロジェクトに多数参加しテクノロジーを活用した業務改革支援に従事。Snowflake ではクラウド・データ・プラットフォームの提供を通じて、日本企業のデータドリブン経営、データ・エコシステム構築などの DX 支援を行っています。</p>	
キーワード	データクラウド、データコラボレーション、AI	
講演要旨	<p>経済・社会情勢の変化が拡大する中で、AIなど新しいテクノロジーの活用とデータを基にした戦略的な意思決定は、ますます重要性を増しています。</p> <p>本セッションでは、最新のデータ x AI のトレンドと可能性について解説し、データドリブンな意思決定の実践に必要な視点と組織・人材のあり方を、それを支える Snowflake の具体的な取り組みを交えてご紹介します。</p>	

タイトル	(基調講演)意思決定を創造する人中心型イノベーション	
発表者	手島 主税 氏	
所属・役職	SAS Institute Japan 代表取締役社長	
主な経歴	<p>1998年に日本ヒューレット・パッカード株式会社(現、日本ヒューレット・パッカード合同会社)に入社し、Hewlett Packard Company (米国カリフォルニア州)赴任後、ビジネスクリティカルシステム事業本部長などを経て、2014年に執行役員 HP サーバー事業統括本部長に就任。</p> <p>2015年に株式会社セールスフォース・ドットコム(現、株式会社セールスフォース・ジャパン)に入社し、執行役員 アライアンス担当副本部長、2016年からは常務執行役員 アライアンス本部長を歴任。</p> <p>2017年12月に日本マイクロソフト株式会社に入社し、執行役員常務 クラウド&ソリューション事業本部長に就任、2022年7月より執行役員常務 インダストリアル&製造事業本部長を歴任。</p> <p>2023年4月より SAS Institute Japan 株式会社 代表取締役社長に就任。</p>	
キーワード	AI、データドリブン、不確実性	
講演要旨	<p>地球環境や経済の不確実性や変化に迅速に対応し、企業や組織が持続的に成長をするためには、データおよびそこに息を吹き込む AI/アナリティクスの活用が不可欠です。そのために必要な、スピードとアジリティ、イノベーション、公平性と責任、データリテラシーそして好奇心、これら5つの不可欠な要素をもとに、これまでの製薬業界での SAS の取り組みおよび塩野義製薬様との戦略的な取組のご紹介と、半世紀に及ぶ SAS の AI/アナリティクスの経験に基づき、様々なデータドリブン意思決定の事例をご紹介しながら、データサイエンスによってどのように現実世界をより良くできるのかについてお話しします。</p>	

タイトル	SHIONOGI のデータ利活用基盤の現状と今後の展望	
発表者	渡邊 慶	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データエンジニアリングユニット ユニット長	
主な経歴	2007年4月 塩野義製薬株式会社 解析センター 2021年7月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	
主な研究・ 業務内容	全社データ基盤の構築・運用	
キーワード	データ利活用基盤、データエンジニアリング	
講演要旨	SHIONOGI は、ヘルスケアプロバイダーとして新たな価値を社会へ提供することを目標に掲げ、その実現に向けた取り組みのひとつとして、データサイエンス部では社内外データの収集とその活用に力を入れています。データハブとデータウェアハウスの2層で構成されている SHIONOGI のデータ基盤のうち、本講演ではデータウェアハウスに焦点を当て、現状と今後の展望について紹介いたします。	

タイトル	データサイエンス人材教育と データサイエンス部保有スキルの見える化	
発表者	山下 彩花	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データエンジニアリンググループ	
主な経歴	2017年4月 塩野義製薬株式会社 解析センター 2020年4月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス室 2021年7月 塩野義製薬株式会社 データサイエンス部	
主な研究・ 業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ データ利活用基盤の導入・運営 ・ 商用データベースを含む社内外データの収集・活用検討 ・ データウェアハウス、ダッシュボードの構築 ・ データ活用のための人材育成施策の立案 	
キーワード	人材育成、データドリブン、タレントデータ	
講演要旨	SHIONOGI データサイエンス部では人事部と協働しながら社内のデータサイエンス人材の育成を実施し、各組織におけるデータ活用風土の醸成を促進しています。データサイエンス部員が講師・メンターとなり、『教えることは教わること』をモットーに、自身のデータサイエンススキルを磨いています。本講演ではデータサイエンス人材教育の取り組みの紹介と、データサイエンス部が保有しているスキル情報の活用事例についてお話しします。	

タイトル	オンデマンド計算環境の開発 -クラウド計算資源の効率的な利用と、高度解析の加速-	
発表者	高市 伸宏	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 コンピュータサイエンスグループ	
主な経歴	2011年4月 塩野義製薬株式会社 入社 2021年7月 塩野義製薬株式会社データサイエンス部	
主な研究・ 業務内容	・ データ解析システムの構築 ・ 新規技術導入検討、企画推進	
キーワード	クラウドコンピューティング、データ解析基盤	
講演要旨	活発なデータサイエンス活動のためには、十分な容量かつ、ストレスなく自由度の高い計算環境が欠かせません。昨今において急速に普及が進んだクラウド環境は、この計算環境を柔軟に得る手段として格好のものです。この発表では、AWS クラウドから円滑かつ自由に、短いリードタイムで計算環境を払い出すために、SHIONOGI データサイエンス部が設けた基盤環境と、その活用状況についてお伝えします。	

タイトル	データ活用を促進するデータカタログ	
発表者	雑賀 恵美	
所属・役職	塩野義製薬株式会社 データサイエンス部 データエンジニアリンググループ サブグループ長	
主な経歴	独立系 SIer を経て 2014 年 9 月 シオノギデジタルサイエンス(株)に入社 2022 年 1 月 塩野義製薬株式会社へ転籍 データサイエンス部に所属	
主な研究・ 業務内容	Central Data Management の基盤整備と運営管理を担当。データベース周辺の ETL ジョブやダッシュボードの構築にも携わる。現在は、プロジェクトリーダーとしてデータカタログシステムの開発に従事している。	
キーワード	データの民主化、データ品質、データ活用のモチベーション	
講演要旨	SHIONOGI ではデータ活用を促進するために、データカタログを独自に開発しています。分散型のデータマネジメントは、従来のデータカタログとは一線を画したコンセプトであり、データ管理とデータ利用を同時に加速させる仕組みです。本講演では、データサイエンス部がデータマネジメントにおいて意識しているキーワードとともに、当社のデータカタログの特徴と機能をご紹介します。	

昨年 3 月 1 日に開催した SHIONOGI DATA SCIENCE FES 2023 では、約 700 名の方にご参加いただき、ご好評のうちに終了いたしました。イベントレポート及びアーカイブ動画は[こちら](#)からご確認ください。

[連絡先]

◇ 本イベントに関するお問い合わせ

SHIONOGI DATA SCIENCE FES 事務局（塩野義製薬株式会社 DX 推進本部 データサイエンス部）

* [こちら](#)からお問い合わせください。

* お問い合わせ内容によって、ご返答に時間がかかる場合やお答えできない場合がございます。予めご了承ください。